

## 特集

### 封筒キャンペーン実施中



## 記事

### 封筒キャンペーン実施中

### 抗酸化作用

### 米の話

## 封筒キャンペーン実施中

花の便りも聞かれるころとなり、すっかり春らしくなってきました。いかがお過ごしですか。さて、現代人はパソコンやケータイなどで目を酷使する環境が多くなっています。印刷会社のデザイン部門などでは、一日中パソコンのモニターを見るため疲れ目やドライアイなどの目に関するトラブルが多いのではないのでしょうか。

人間は五感からさまざまな情報を脳に送っています。その中で視覚は、情報全体の70～80%を占めるといわれています。その視覚情報を入力する目の視力がおちたり病気になったりしては、仕事や日常生活で大変不便を感じるようになってしまいます。そこで、目の健康を維持するために普段から目のケアが必要になってくるのです。

では、目の健康を維持するには普段から何に気をつければよいのでしょうか？いくつかご紹介したいと思います。

紫外線には、目に大きなダメージを与え、表層角膜炎や白内障などの病気を引き起こすリスクがあります。紫外線の強い場所や時期には、サングラスなどで紫外線を避けるようにしましょう。

できるだけ刺激物をとらないことも大切です。たばこは目の老化を促進させます。もちろん白内障などの病気の発生リスクは



あがります。また、タバコの煙はドライアイに悪影響を与えるそうです。

視力は年齢などの要因により変化していきます。眼鏡やコンタクトなど自分に合ったものにしないとかえって視力が悪くなる可能性もあります。また、メガネをかけている方でパソコンなど近距離を見ることの多い人は少し弱めのメガネを使用したほうがよいようです。

目を酷使しないことや、抗酸化作用の高い食品をとることなども必要になってきます。大切な目ですから普段から意識的にケアをしたいものです。

さて、封筒のキャンペーンもいよいよ4月になり残り一ヶ月となりました。まだまだ間に合いますので、お見積など、どんどんお問合せ下さい。(T)

## 抗酸化作用

先ほど『抗酸化作用』の話をしました、『抗酸化作用』と『活性酸素』は最近、よく聞くようになりましたね。

『活性酸素』は、紫外線、ストレス、喫煙、食品添加物、大気汚染など、さまざまな原因によって、人体の主に腸内で発生しま

す。この『活性酸素』が体内の細胞を酸化させ生活習慣病などのさまざまな病気を引き起こす原因となっています。ガン、糖尿病、高血圧、脳卒中、心臓病なども『活性酸素』が深くかかわっています。

最近では、この『活性酸素』が老化の原

スギウラ株式会社  
営業部 営業一課  
〒370-0006  
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号  
代 表  
027-361-5808  
営業一課  
027-361-5734

Fax  
027-361-1272

当社 Web サイト  
www.kamisugiura.co.jp



お気付きの点や質問、  
疑問などありましたら、  
ご遠慮なく営業または、  
下記までお問合せくだ  
さい。

お問合せ  
メールアドレス  
sg-takahashi-t  
@kamisugiura.co.jp

因だとも言われています。肌のシミやシワやソバカスなども『活性酸素』が影響しているのです。その体内細胞の酸化を防ぐのが『抗酸化作用』というわけです。

『抗酸化作用』は、野菜や果物に含まれるミネラルやビタミンを摂取することによって発揮することができます。野菜の中では緑黄色野菜や淡色野菜などに多く含まれています。トマトに含まれるリコピンや、お茶に含まれるカテキンなどは抗酸化力が高いといわれています。

成人で野菜の一日の必要量は約 300g～350gといわれています。野菜で一日300gといえればかなりのボリュームになります。なかなか取れない場合はサプリメントなどで摂取することもできます。

忙しい日常のなかで、食事を簡単にすませたり、好きなものだけ食べて偏った食事になったりすることが多くなってしまいがちですが、『治療より予防』ということで野菜中心の食生活を心がけたいものです。(T)

## 米の話

印刷会社さんが普段使われている(枚葉)インキは、一般的に顔料(15～25%)・樹脂(25～35%)・植物油(15～25%)・鉱物油(25～30%)・補助剤(3～5%)から構成されています。しかし近年、環境配慮への関心の高まりと共に、揮発性有機化合物を含まないいわゆるNon-VOCインキや鉱物油を一部大豆油に切り替えた(25～30%)大豆油インキが普及したのは皆様ご存知の通りです。

ところで大豆インキマークは、コレもご存知の通りアメリカ国旗をモチーフにしておりますが、実は大豆インキは日本以外ではほとんど普及していないのが現状です。アメリカで生まれた同製品ですが、生まれ故郷でもあまり流通していないのです。話は少し逸れますが、日本では色々な品物や文化が、島国のせいかわ独自の進化過程をとりやすいらしく、印刷に関してもそれは同様で、商業印刷という概念は、コレもほとんど日本のみのものです。欧米では新聞にチラシが挟まってくるということは無く、チラシは専門の印刷所で冊子等が作られるのが一般的なようです。それゆえ欧州では、オフ輪もあまり主流ではなく、機械は枚葉が主となっております。昨年の印刷機材展DRUPAでは、A8倍判という機械が出たそうです。これではハイデルベルク社がオフ輪を手放すのもむべなるかな、と。

閑話休題。大豆インキを取り巻く状況はそんなものなので、2011年頃には大豆インキマークは無くなるかも、という流れだそうですね。

では次は何が出てくるのかといえば、表題に戻って、米ぬかインキです。まだ昨年後半に出てきたばかりの新しいものですが、サンエー印刷・東洋インキの2社が共同開発した、その名の通り米ぬかから搾油した米ぬか油が含まれるインキです。大豆インキは、主に北米で生産された大豆を使って造られます。大豆という食物を使うことと、輸送コストが高いことが以前から指摘されてはいました。その点米ぬかならば、食物ではありませんし(飼料としては使われます)、国内で多く出るので輸送コストがかなり抑えられます。それに輸送距離が短いので、排出されるCO2もグッと減らせませ(輸送マイルージの短縮)。

もともと米ぬか油は、スナック菓子を揚げるときなどにも使われる良質の油ですので、インキの材料としても申し分ありません。メーカーの公式発表では、乾燥性なども大豆油に引けをとらないということなので、作業効率も悪くなさそうですね。グリーン購入法も見直しが進み、ますます環境対応が叫ばれる中、要注目の品物であるのは間違いありません。(A)